

# No.92 山梨県・丹波山村（地域資源を生かした観光コンテンツ開発）

地域力創造アドバイザー	細川 哲星氏（A546）
活用分野	シティプロモーション・地域PR（地域ブランディング）
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月4回程度）
キーワード	# マーダーミステリー # 観光コンテンツ開発 # 魅力発掘 # 地域商業の活性化 # 賑わい創出 # 関係人口

## 【目的】

若者を中心に近年注目されている「マーダーミステリー」の丹波山村オリジナルの周遊型コンテンツを開発し、集客に苦戦している冬場の観光者数を増やす。

## 【内容】

観光スポットや飲食店など、実在する丹波山村の地域資源を活かした周遊型のマーダーミステリーの新規コンテンツを制作するにあたり、村内の関係各所との連携し、地域資源を生かしたコンテンツ（シナリオ、デザイン）にかかる助言・指導を行っている。

## 【成果（見込み）】

初年度に本事業で開発した丹波山村オリジナルのマーダーミステリー作品である「狼ノ村」は、毎回ほぼ完売となる人気を呼んでおり、地域の飲食店や宿泊施設等の売りに大きく貢献している。今年度は「狼ノ村」を継続開催しつつ、新たにコンテンツを開発し、丹波山村＝エンタメのイメージの定着と、リピーターの獲得を図る。

「狼ノ村」公式HP ▶ [https://immersivelab.jp/Okami\\_no\\_mura](https://immersivelab.jp/Okami_no_mura)



「狼ノ村」キービジュアル

# No.122 兵庫県加東市（ICTを活用した観光体験商品の企画開発支援）

地域力創造アドバイザー	細川哲星氏（A546）
活用分野	1. 地域資源を活用した地域経済循環、6. 観光振興・交流、12. シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～（令和8年度まで予定） ・稼働＝月4回程度（全30回程度）
キーワード	#観光 #周遊 #消費拡大 #魅力発掘 #地域商業の活性化 #賑わい創出 #誘客

## 【目的】

観光客の一極集中の是正、観光客の滞在時間の延長を目的に、ICTを活用した新たな周遊型の観光体験商品を企画・開発することで、観光地としての魅力を強化する。

今年度は、昨年度に引き続き、東条湖周辺に宿泊するスタイルを継続しつつ、周遊の輪を広げてさらなる消費拡大を促すコンテンツとなる予定。

地域を広く巻き込んで『マダーミステリー』というものを一度実施できたことで、宿泊施設をはじめ、様々な方が要領をつかんだ様子で、地域主体でのさらなる観光振興を促進できると考えている。

## 【内容】

- 市、市観光協会、市内事業者が主体となって取り組むマダーミステリーのシナリオ作りと既存観光施設での仕掛けづくりの指導
- シナリオの検討会議での地域事業者との調整・アドバイス、周遊の強化策検討
- ICT活用の指導（シナリオ上での活用）



今回のキービジュアル



加東市ならではの仕掛けを盛り込むため、市観光協会や地元事業者とのフィールドワークを重視。  
【播州清水寺】  
【東条湖】

## 【成果（見込み）】

- 指導のもと、昨年よりもさらに広域での旅行商品が出来上がりつつある。
- アドバイザーにより、地元ホテルほか寺社などの協力を取り付けることができた。
- シナリオに地域の特産品を組み込むことで、地域のPRと消費喚起につなげた。
- 参加予約は100人超。  
前年度の商品も別途稼働しているため、今回のシナリオを加えて運用することで、オフシーズンに宿泊を伴う交流人口の流れを作ることができた。事業全体の費用対効果もプラスに転じている。

# No.130 和歌山県那智勝浦町（デジタルノマド誘致）

地域力創造アドバイザー	細川 哲星 氏（A546）
活用分野	インバウンド、関係人口、滞在、活動の場、DMOと連携、民泊、農泊
活用期間（頻度）	令和7年度～令和8年度（月1、2回程度）
キーワード	#デジタルノマド #インバウンド #関係人口 #観光業の活性化 #多文化交流 #観光振興

【目的】 歴史的建造物の活用、訪日外国人誘致、デジタルノマドの誘致を通じて観光振興および地域の経済発展を図る。

## 【内容】

- ワーキングスペースの整備
- 受け入れ環境調査
- モニターツアーの実施
- デジタルノマド向けWEBサイトの作成
- プロモーション活動

## 【成果】

- 受け入れ環境調査の実施
- 「デジタルノマド」を学ぶ研修会実施  
⇒町内観光関係事業所を対象（13名参加）
- モニターツアーの実施  
⇒日本人有識者2名、外国人有識者1名を招待  
2泊3日で町内5エリア+aについてレポート
- デジタルノマドツアーの実施  
⇒14名参加  
来年度も実施（参加者100名を目指す）
- WEBサイトの作成
- COLIVE FUKUOKA 2025参加  
⇒ブース出展（デジタルノマド誘致）



（モニターツアー）



（デジタルノマドツアー）



（WEBサイト）



（COLIVE FUKUOKA 2025） 131



# 【R6】No.28 兵庫県加東市（ICTを活用した観光体験商品の企画開発支援）

地域力創造アドバイザー	細川哲星氏（A546）
活用分野	1. 地域資源を活用した地域経済循環、6. 観光振興・交流、12. シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～（令和8年度まで予定） ・稼働＝月4回程度（全30回程度）
キーワード	#観光 #周遊 #消費拡大 #魅力発掘 #地域商業の活性化 #賑わい創出 #誘客

## 【目的】

観光客の一極集中の是正、観光客の滞在時間の延長を目的に、ICTを活用した新たな周遊型の観光体験商品を企画・開発することで、観光地としての魅力を強化する。  
 今年度は特に東条湖に宿泊し周辺での消費を促す観光コンテンツを地域とともに創出することで、市における観光振興と消費拡大を促進した。

## 【内容】

- 市、市観光協会、市内事業者が主体となって取り組むマードーミステリーのシナリオ作りと既存観光施設での仕掛けづくりの指導
- シナリオの検討会議、地域との協力会議運営・宿泊事業者との調整とアドバイス、事業者同士の橋渡し
- 集客策とICT活用の指導（シナリオ内から予約まで）



シナリオタイトル



実際に来場し宿泊した方々（実施の様子）

## 【成果】

- 指導のもと、地域の観光施設や特産品を盛り込んだシナリオを完成させることができ、旅行商品として販売できた。
- アドバイザーにより、地元ホテルの協力を取り付けることができ、フロアを貸し切ったの大規模な事業として実施できた。
- 参加費は宿泊費込で1人28,000円。シナリオ中に地元のお菓子を登場させ、施設だけでなく、地域での消費を生み出した。シナリオ後に食事をして帰られる方、お土産を買って帰られる方がほとんどで、新たな層の誘客と地元での消費を達成した。
- 参加者は100人超。今後も今回制作したシナリオを運用することで、最終的に事業での費用対効果はプラスに転じる見込み。